

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年3月18日

号機

6

件名

非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2022年3月17日、原子炉建屋1階（非管理区域）において、非常用ディーゼル発電機（A）の24時間連続運転試験を実施していたところ、17時15分頃に非常用ディーゼル発電機（A）の軸受部から潤滑油が漏れいしていることを確認したことから、非常用ディーゼル発電機（A）を停止するとともに、一般回線にて公設消防へ連絡しました。

潤滑油の漏れは停止しており、漏れ出た潤滑油の量は、1リットル未満と推定しております。また、漏れ出た潤滑油については、拭き取りを行うとともに、中和剤での処理を行いました。

なお、漏れいした潤滑油の外部等への流出はなく、環境への影響はありません。

今後、潤滑油が漏れいした原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。

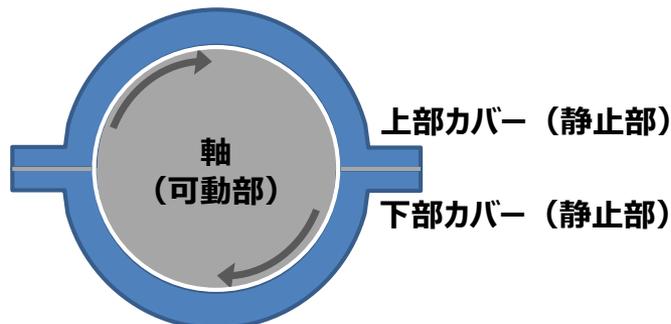
調査を進める中で、非常用ディーゼル発電機内部の潤滑油の漏出を抑制するために軸受部に設置されている部品（Oリング）が切れていることを確認しました。引き続き原因調査に取り組むとともに、切れたOリングについては今後、交換を実施します。

（2022年4月14日までにお知らせ済み）

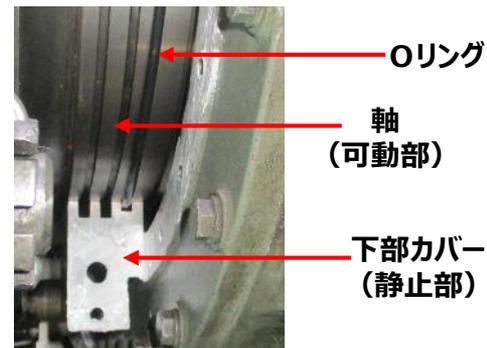
## 【対応状況】

3月26日にOリングの交換を実施し、3月28日にOリング交換後の復旧状況の確認テストとして、運転を実施したところ、開始直後に白いモヤのようなものと、軸封部のカバーの合わせ面から潤滑油の漏れいを確認したことから、運転を停止しました。また、3月31日に実施した分解点検時には、軸封部の可動部に金属同士が接触したような痕（摺動痕）とOリングの破断も確認しています。

4月22日にOリングの交換を実施し、4月25日に再度、確認テストを実施しました。その際も、軸封部のカバーの合わせ面から潤滑油の漏れいを確認したことから、翌日（4月26日）、漏れい箇所に、シール材でのコーキング処理（隙間を埋める処理）を実施しています。その後、4月27日にも確認テストを実施しましたが、その際も、潤滑油の僅かな漏れいを確認しています。引き続き原因調査に取り組んでまいります。

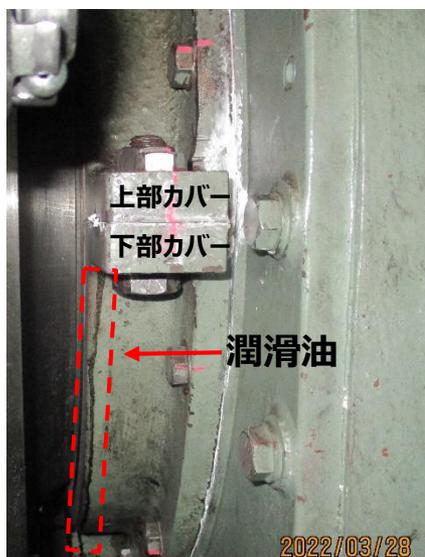
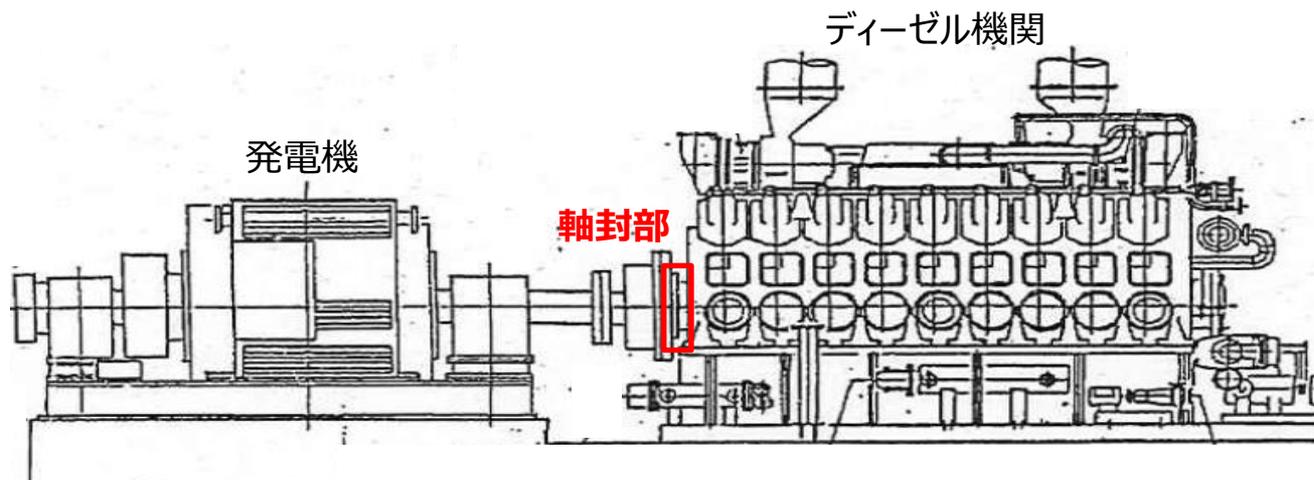


軸封部イメージ（断面図）



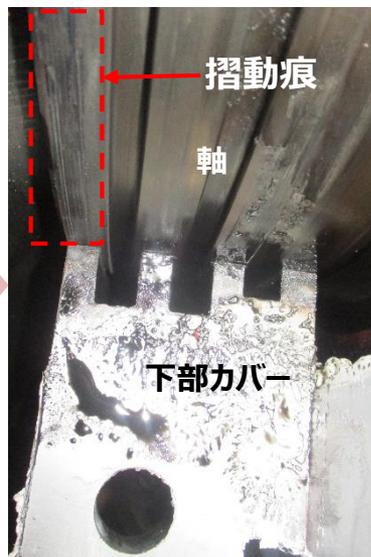
軸封部（上部カバー開放時）

# (参考) 6号機非常用ディーゼル発電機 (A) 油漏れ発生状況

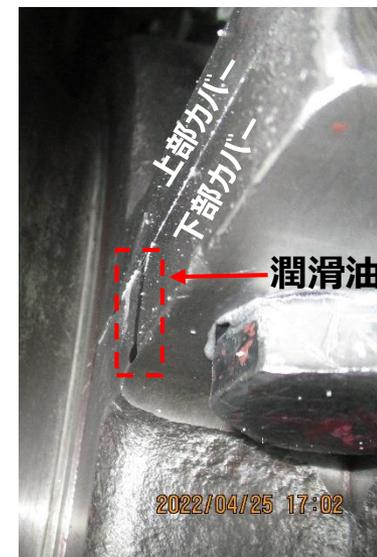


3/28 油漏れ確認時

上部  
カバー開放



3/31 点検時 (上部カバー開放時)



4/25 油漏れ確認時

## 【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

---

号機	—	件名	保安規定対象記録の未保存について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年2月15日
号機	5	件名	取水口エリアにおけるクレーンのワイヤー切れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月23日